

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	野呂山公園施設		
所在地	呉市川尻町坂休		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	オートキャンプ場、公衆便所、休憩所、展望台、歩道、車道、駐車場施設等		
指定管理者	4期目	H31.4.1～R6.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	(財)野呂山観光開発公社

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R4	5,250人	5,220人	1,246人
R3		5,250人	3,974人	△1,195人	△1,276人 (75.7%)
R2		5,000人	5,169人	△1,485人	169人 (103.4%)
R1		5,000人	6,654人	1,299人	1,654人 (133.1%)
	3期平均 H26～H30	5,424人	5,355人	340人	△69人 (98.7%)
	2期平均 H21～H25	4,110人	5,015人	1,863人	905人 (122.0%)
	1期平均 H18～H20	—	3,152人	528人	—
	H17 (導入前)	—	2,624人	—	—
増減理由	行動制限が解除され、昨年度に比べて利用者数が増加したが、利用形態がファミリーキャンプからソロキャンプに変わっていることもあり、わずかに目標を達成できなかった。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	ヒアリング実施	キャンプ場利用者 128件
	【主な意見】	【その対応状況】
	夜間の団体客の騒音が気になった。	巡回の頻度を増やして、利用者が安心して過ごせるように努めた。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務実績報告書
	日報	— —
管理運営会議 (2回・現地)	【特記事項等】 施設の維持・修繕について	
現地調査 (2月)	【指定管理者の意見】 洋式トイレの増設 【県の対応】 指定管理者と連携して、令和5年度に修繕工事を実施予定	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	R4	5,034		△4	料金 収入 (決算額)	4期	R4
R3			5,038	102	R3	3,768			△714
R2			4,936	76	R2	4,482			△474
R1			4,860	799	R1	4,956			1,660
3期平均(H26~H30)		4,061	113	3期平均(H26~H30)		3,296		532	
2期平均(H21~H25)		3,948	0	2期平均(H21~H25)		2,764		1,310	
1期平均(H18~H20)		3,948	△364	1期平均(H18~H20)		1,454		103	
H17(導入前)		4,312	—	H17(導入前)		1,351		—	

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	5,034	5,038	△4	
		料金収入(※1)	4,657	3,768	889	オートキャンプ場の利用回復による増
		その他収入	19	1,300	△1,281	雇用調整助成金の減
		計(A)	9,710	10,106	△396	
	支出	人件費	5,080	5,262	△182	人員配置の見直しによる減
		光熱水費	1,782	1,489	293	燃料価格等の高騰による増
		設備等保守点検費	1,001	1,402	△401	し尿汲取り回数の見直しによる減
		清掃・警備費等	503	563	△60	
		施設維持修繕費	485	502	△17	
		事務局費	36	106	△70	
		その他	786	761	25	
	計(B)	9,673	10,085	△412		
		収支①(A-B)	37	21	16	
	自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—	
支出(D)		—	—	—		
収支②(C-D)		—	—	—		
合計収支(①+②)		37	21	16		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の 効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	多目的広場等の無料開放のほか、各種イベント(手ぶらでキャンププラン、野外料理教室等)を継続実施した。	キャンプ初心者向けなどの利用増進を図るためのイベントを企画・実施している。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	新型コロナウイルス感染防止対策として、キャンプサイトの間隔を空けた利用を継続した。	利用者が安心して利用できる施設を提供している。
	○業務の実施による、施設の利用促進	ファミリー層向けのプランのチラシを呉市内の小学校に継続して配布することで、地元市民の利用促進やリピーターの獲得につなげた。	利用者の居住地の分析などにより、オートキャンプ場利用の増加につながる取組を実施している。
	○施設の維持管理	定期的に施設等を巡回し、清掃管理を徹底したほか、修繕について県と連携して実施した。	清掃、草刈りを適切に実施し、快適な利用環境の提供に努めるとともに、修繕についても県と連携して行っている。
管理の 人的物的 基礎	○組織体制の見直し	利用客数の増減に対応できるように人員配置を見直した。	利用者の満足度向上に努め、人件費を削減していることは評価できる。
	○効率的な業務運営	周辺施設(野呂高原ロッジ)と連携して一体的な管理運営を行った。	周辺施設と連携した施設の管理運営及び柔軟な人員配置により、効率的な運営を行っている。
	○収支の適正	前年度に引き続き、黒字を確保した。	今後も施設の利用促進を図るとともに、新規イベントの実施などにより、黒字運営を継続する必要がある。
総括		アウトドア・野外施設の需要の高まりもあって、利用者増及び収入増となり、黒字を確保できた。	引き続き、周辺施設と連携したイベントなどにより、利用者増や収入増に努める必要がある。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和5年度)	アウトドア・野外活動の需要が高まる中で、利用者のニーズに応え、適切なサービスの提供を行い、リピーターの確保に繋げる。	利用者のニーズ調査や分析、その結果を踏まえた施設の管理について、協力・支援を行う。
中期的な対応	ある程度の周期により、今後、キャンプブームは落ち着くと考え、次のブームに向けて、施設の修繕等や利用増加につながる企画及び柔軟な料金設定を行うなど、県と協議を行いながら、適切な運営管理を心掛け、持続可能な施設を目指す。	施設の修繕については、指定管理者の意見等を踏まえ、緊急性の高いものから計画的に対応していくとともに、利用者増加策についても、必要な支援を行う。